

《事故情報》

配管からのガス漏えい：硫化水素中毒事故（1名死亡）

（一社）大阪府高圧ガス安全協会
事務局

本年5月17日午前10時頃、大阪府堺市の石油精製工場から「敷地内の配管でガス漏えいが起き、従業員が倒れている」と消防に通報がありました。消防車17台が出動し、倒れていた男性3名を救助、病院に搬送しました。

この事故により **44歳の男性が死亡し、62歳の男性が意識不明、72歳の男性は意識がある状態であった**との事です。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

（1）発生日時：令和7年5月17日（土） 午前10時頃

（2）発生場所：大阪府堺市 石油精製工場の構内

（3）作業状況：配管の点検作業中

（4）物的被害：物損は不明

（5）人的被害：男性3名が病院に搬送された。

44歳の男性が死亡。

62歳の男性が意識不明、72歳の男性は意識のある状態であった。

（6）事故原因：硫化水素を含むガスが配管のつなぎ目から漏れた。

以下の事が実施されていたか詳細は不明。

① 作業現場に適切な検知器／警報機が設置されていたか。

② 検知器／警報機が適切に管理されていたか。

③ 硫化水素を含むガスが漏えいしたことを想定した教育・訓練を実施していたか。

④ 作業員が危険場所としてKYを行っていたか。

作業において作業現場の他に周辺機器や配管の危険性を洗い出し、その対応策を現場作業員に周知させることが重要です。必要に応じて法定責任者の選任、監督させることが必要になります。

2. 報道記事（NHK ニュースを参考に添付します）

（1）インターネット情報

「大阪府堺市 硫化水素」で検索すると、その他記事も出てきます。

以 上



大阪 ENEOS堺製油所で硫化水素ガス漏れ 3人搬送 うち1人死亡

2025年5月17日 19時06分

事故

17日午前、大阪 堺市の沿岸部にあるENEOSの石油精製工場で、石油を精製する過程で出る有毒な硫化水素のガスが漏れる事故があり、ガスを吸った従業員の男性3人が搬送されました。警察によりますと、このうち1人が死亡、1人が意識不明の状態だということです。

17日午前10時ごろ、堺市西区築港浜寺町にある石油元売り最大手 ENEOSの石油精製工場「堺製油所」で、「敷地内の配管でガス漏れが起き、従業員が倒れている」と消防に通報がありました。

消防車など17台が出動して、ガスが漏れ出した周辺で倒れるなどしていた従業員の男性を3人を救助しました。

3人は病院に搬送されましたが、警察によりますと44歳の男性が死亡し、62歳の男性が意識不明の状態だということです。

もう1人の72歳の男性は、意識があるということです。

警察によりますと、石油を精製する過程で発生する有毒な硫化水素のガスが、何らかの原因で配管のつなぎ目から漏れ出ていたということで、搬送された3人は配管の点検作業中にガスを吸ったということです。

警察が、ガスが漏れ出した原因や安全管理の状況など詳しく調べています。